

研究の成果

1 指導と評価の計画

児童・生徒の具体的な姿を想定して評価規準を作成することが大切であり、多様な指導の手だてを指導と評価の計画に位置付けることが重要である。また、評価規準を明確にすることで形成的な評価が可能となり、一人一人に応じた指導が実践できる。

2 指導上の工夫

教科の特性や学習内容等に応じて指導形態を組み合わせ、単元を構成することで児童・生徒一人一人の学習状況に応じた指導を実践することができる。また、同じ内容を繰り返して学習するなどの補充的な学習を行うことや、学習内容を活用するなどの発展的な学習を行うことは、基礎的・基本的な内容の定着につながる事が分かった。

児童・生徒の興味・関心や学習の定着状況に応じるには、少人数学習集団による指導を行うことが効果的である。学習内容の定着が図られていない児童・生徒については、教師が学習の進め方を寄り添って確認していくなど、把握した実態に基づき個別指導に重点を置くことが求められる。なお、少人数学習集団による指導を行う際には、学習内容について児童同士が交流し、互いに高め合う活動を取り入れるなどの工夫をすることで、学級全体の定着状況を高めていくことが大切である。また、学習集団を構成する際に、児童・生徒が選択した学習集団と、教師の想定した学習集団が異なった場合、教師は評価を基に指導を行ったり、担当の教師同士が連絡を取り合い指導方針を共有したりする必要がある。

今後の課題

- ・教科の特性や学習内容に応じた指導の在り方をさらに追究すること。
- ・各学校がそれぞれの実態に応じて教科の指導計画等を見直し、授業改善に取り組むための資料を作成すること。
- ・少人数学習集団による指導における指導方法や学習課題等についてさらに開発すること。

主な参考文献・資料等

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 『小学校学習指導要領解説』総則編 国語編 算数編 | 文部省 |
| 『新しい学力観に立つ教育課程の創造と展開』 | 文部省 |
| 『評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料』 | 国立教育政策研究所 |
| 『基礎的・基本的な内容の定着に関する調査 報告書』 | 東京都教育委員会 |
| 『これからの評価の考え方とその方法（小学校編）』 | 東京都教育庁指導部 |
| 『少人数学習集団による指導 - 小学校・実践の手引き - 』 | 東京都教育委員会 |
| 『平成13年度 東京の教育21 研究開発委員会指導資料』 | 東京都教育委員会 |
| 『基礎・基本の徹底』 | 上越大学教授 高田喜久司 他 教育開発研究所 |
| 『基礎・基本の徹底と個性を生かす課題選択』 | 伊藤説朗 他 東洋館出版 |
| 『学力向上実践事例集』 | 国立教育政策研究所 工藤文三編 教育開発研究所 |
| 『小学校教育課程の解説＜国語＞』 | 小森茂 編著 第一法規 |
| 『小学校説明的文章の学習過程をつくる』 | 吉川芳則 明治図書 |
| 『語句に着目した読み方の指導』 | 国立国語研究所所長 甲斐 睦朗編 明治図書 |
| 『算数科教育の基礎・基本』 | 算数科授業研究会 明治図書 |
| 『算数の基礎学力をどうとらえるか』 | 中島健三、長崎栄三 他 東洋館出版 |
| 『なぜ「算数的活動」なのか』 | 東京学芸大学附属世田谷小学校 黒澤俊二 東洋館出版 |